

桜 島

○火山活動度レベル

期間中の火山活動度レベルは 2（比較的静穏な噴火活動）でした。

概 況

噴火はなく、桜島南岳の活動としては静穏な状態でした。

噴火活動の状況

桜島南岳の噴火活動は比較的静穏で、噴火はありませんでした。噴火は 8 月 14 日以降、爆発的噴火は 7 月 2 日以降発生していません。

噴煙活動の状況

噴煙は白色または乳白色・中量で、噴煙高度の最高は 14 日の 500m でした。

地震・微動活動の状況

震動観測点 B 点（南岳火口の北西約 2.3km）での火山性地震の月回数は、147 回（8 月：211 回）でした。このうち B 型地震は 134 回（8 月：196 回）で、先月よりも少なくなりました（図 1 の ）。震源が求まった A 型地震は 8 回で、南岳火口周辺に分布しました（図 3）。

火山性微動は 3 回（8 月：5 回）発生しました。微動出現時間の月合計は 0.1 時間でした（図 1 の ）。

降灰の状況

鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11km）の観測では、降灰はありませんでした（8 月：0.5g/m²未満）（図 2 の ）。

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、黒神 - 野尻と黒神 - 藤野の基線長は、長期的に見るとわずかな伸びの傾向が見られますが、藤野 - 野尻の基線長には変化がありません。これは桜島が 3 年余りの間に東西方向にわずかに膨張していることを示しています（図 4）。

火口の状況

3 日、海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力を得て、桜島の機上観測を実施しました。B 火口は閉塞されており、火口底には水溜りが出来ていました（写真 2 の丸印）。火口内の状況は、前回（平成 15 年 6 月 5 日）の観測時と特に大きな変化はありませんでした。



写真 1 南側上空より見た南岳火口



写真 2 : 南岳 B 火口

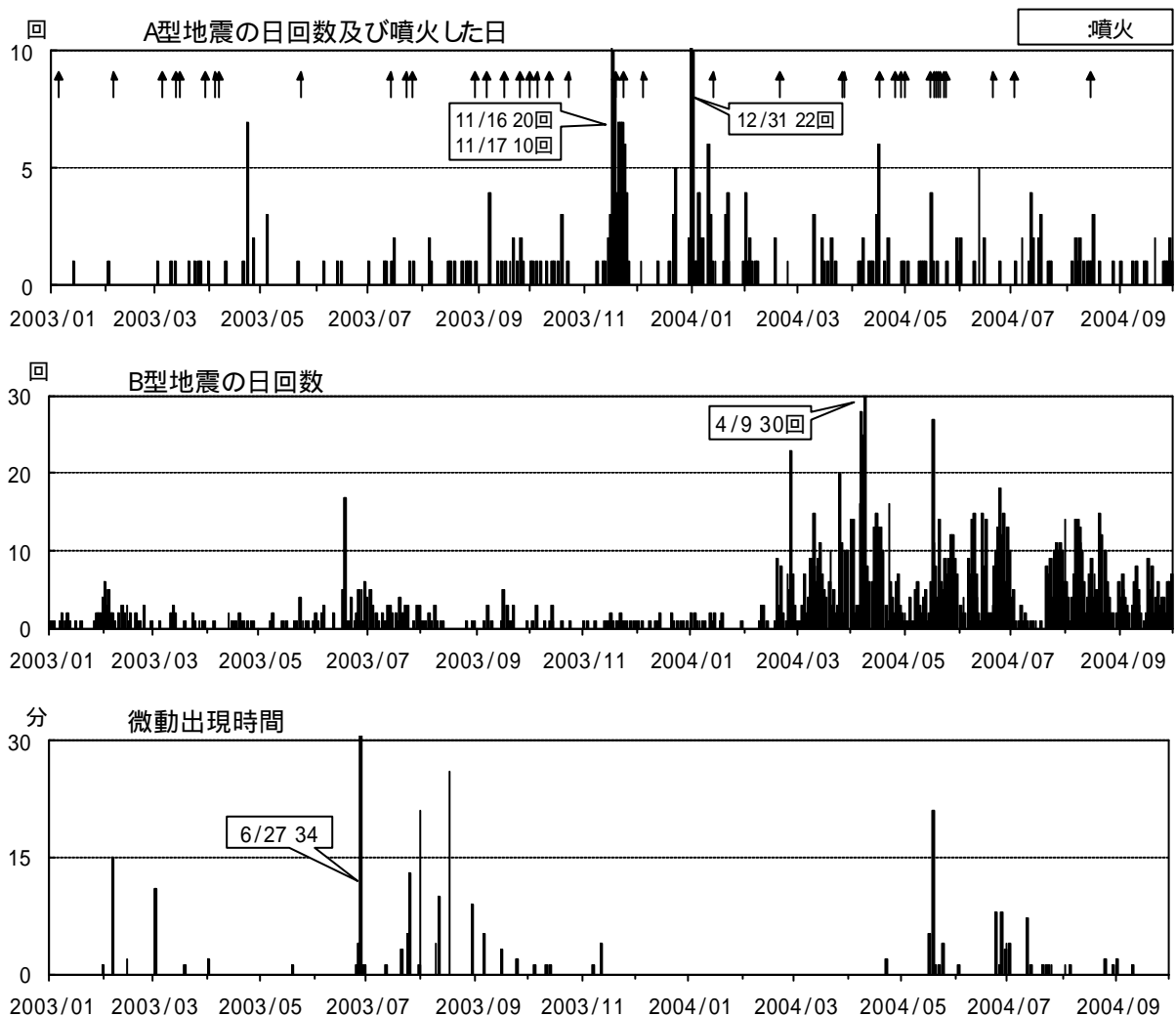


図 1 火山活動経過図（2003 年 1 月～2004 年 9 月）

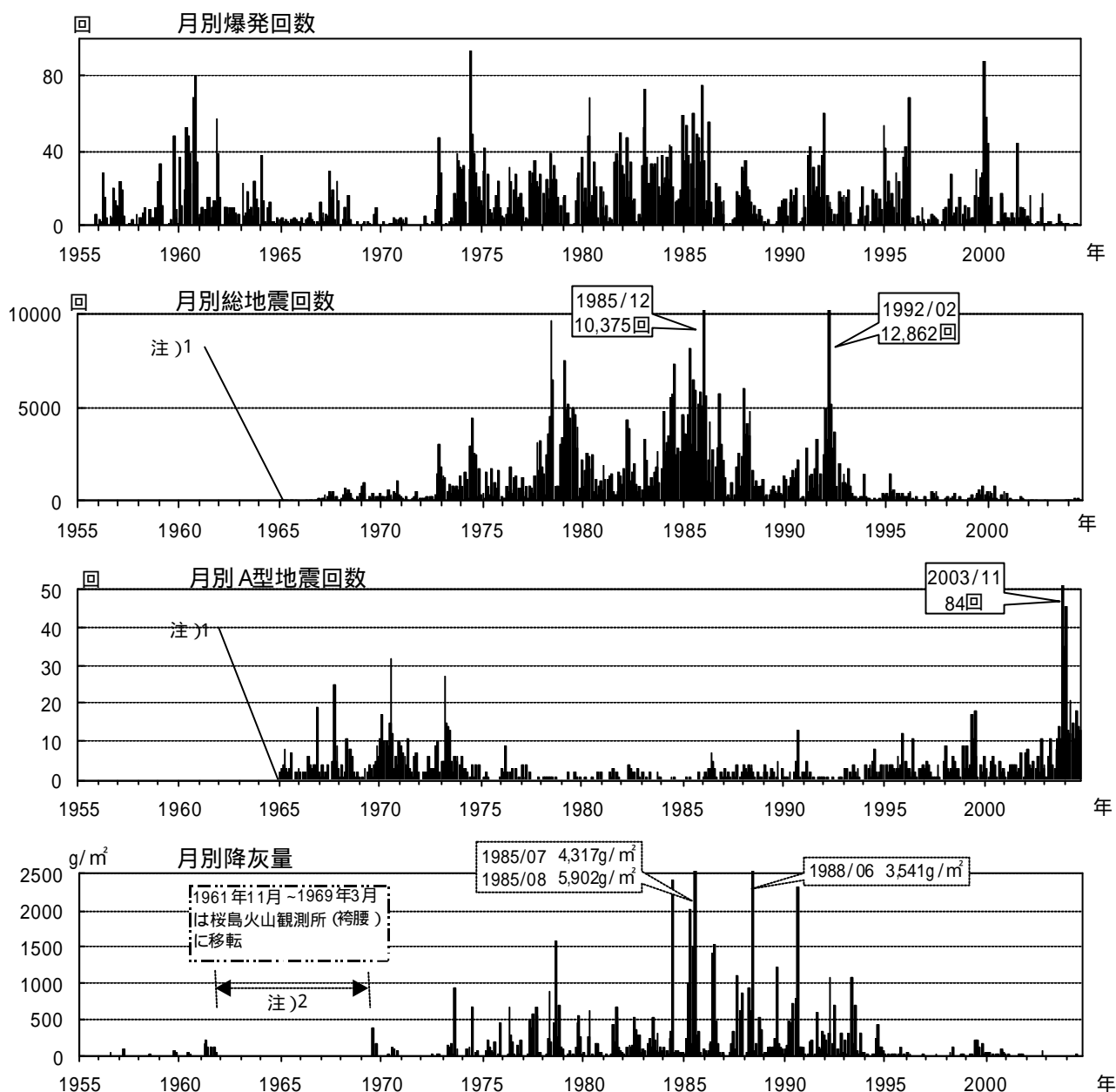


図2 火山活動経過図（1955年1月～2004年9月）

注) 1：震動観測点A点における総地震回数およびA型地震回数は、1965年からのデータをグラフに示した。

注) 2：气象台での降灰量の観測は1994年2月24日までは鹿児島市荒田1丁目、同年2月25日以降は同市東郡元町において行なわれた。なお、1961年11月から1969年3月までは桜島に観測所を移転したため降灰量の統計は中断した。

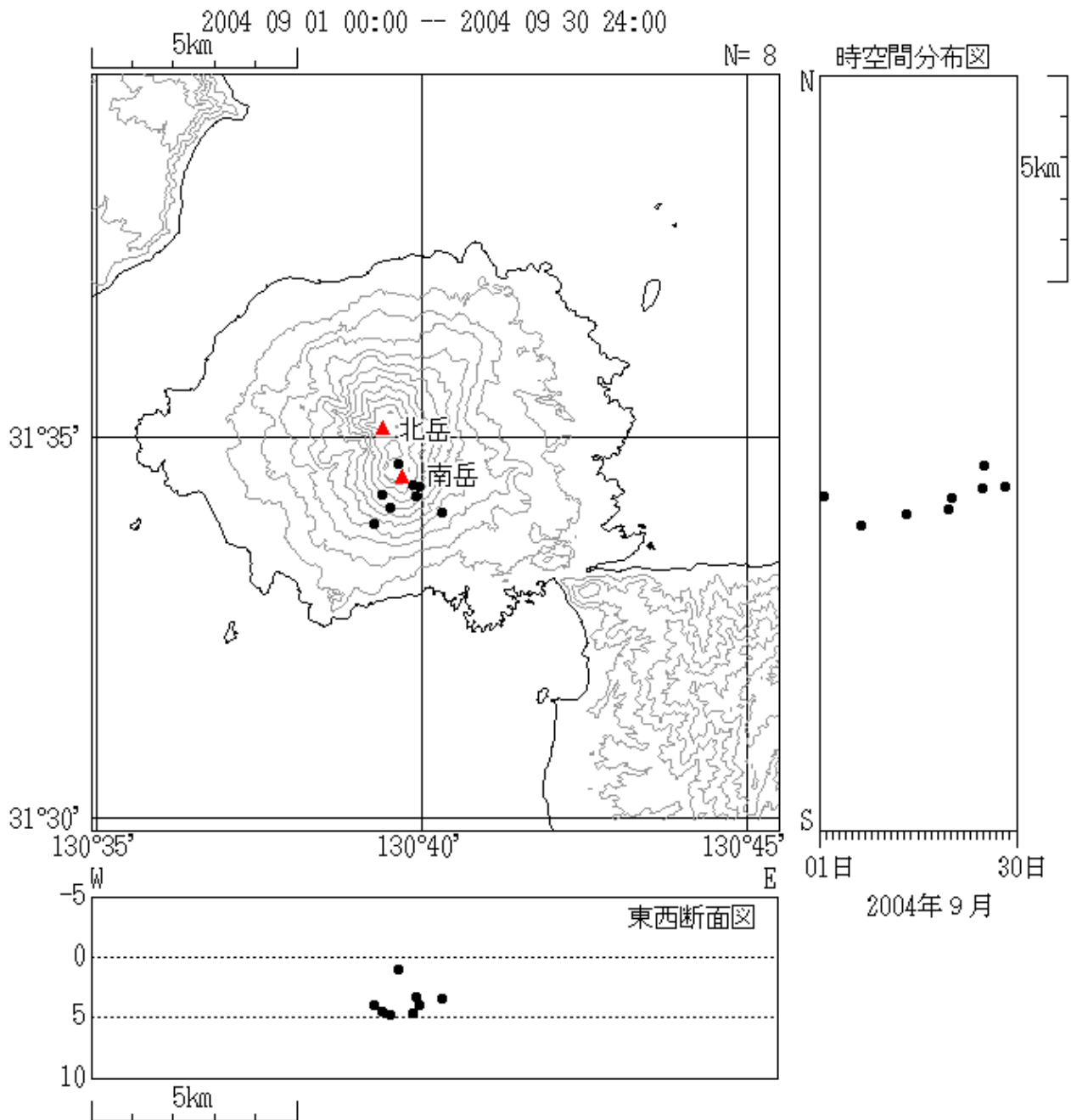


図3 震央分布図（上）と東西断面図（下）、時空間分布図（右）
 （2004年9月1日～9月30日）

本資料は、鹿児島大学、気象庁のデータを用いて作成している。

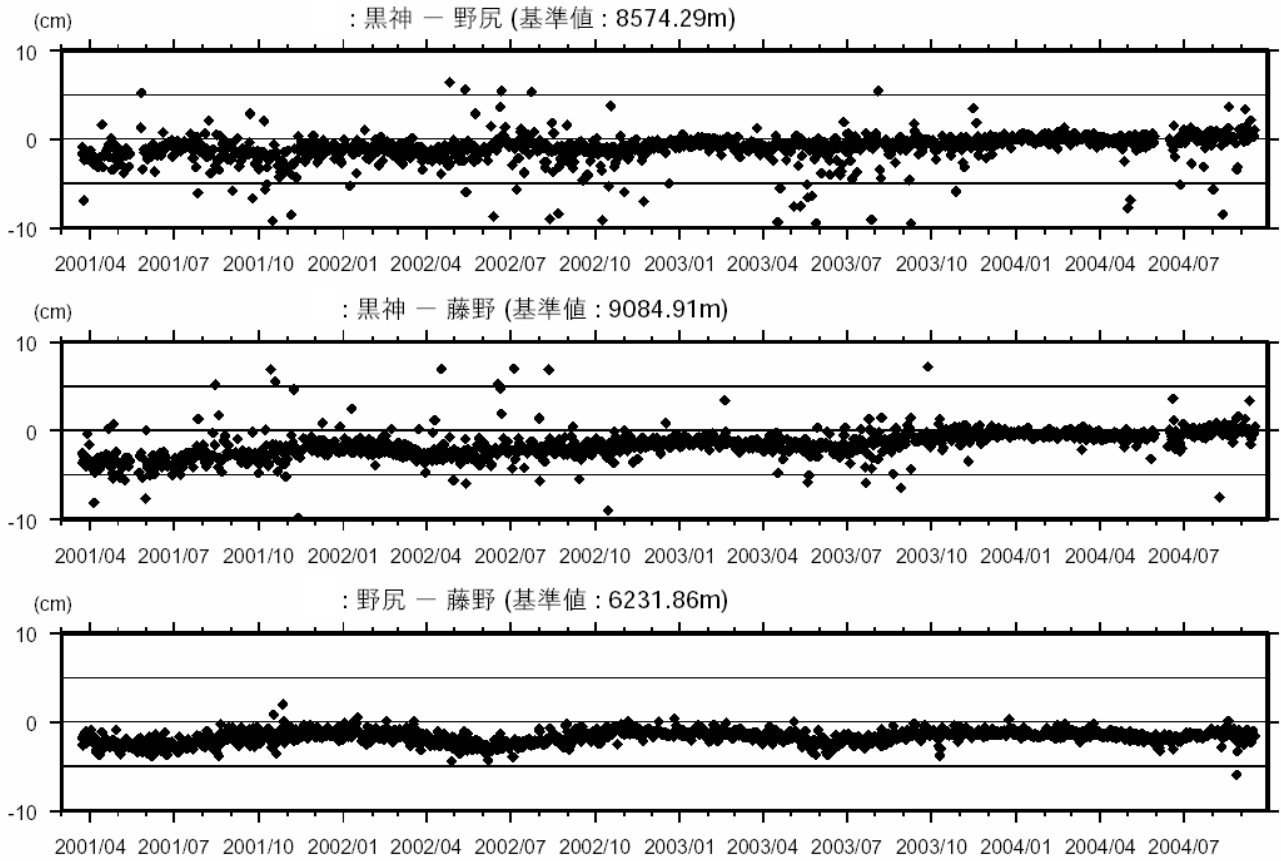


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2004年9月30日)

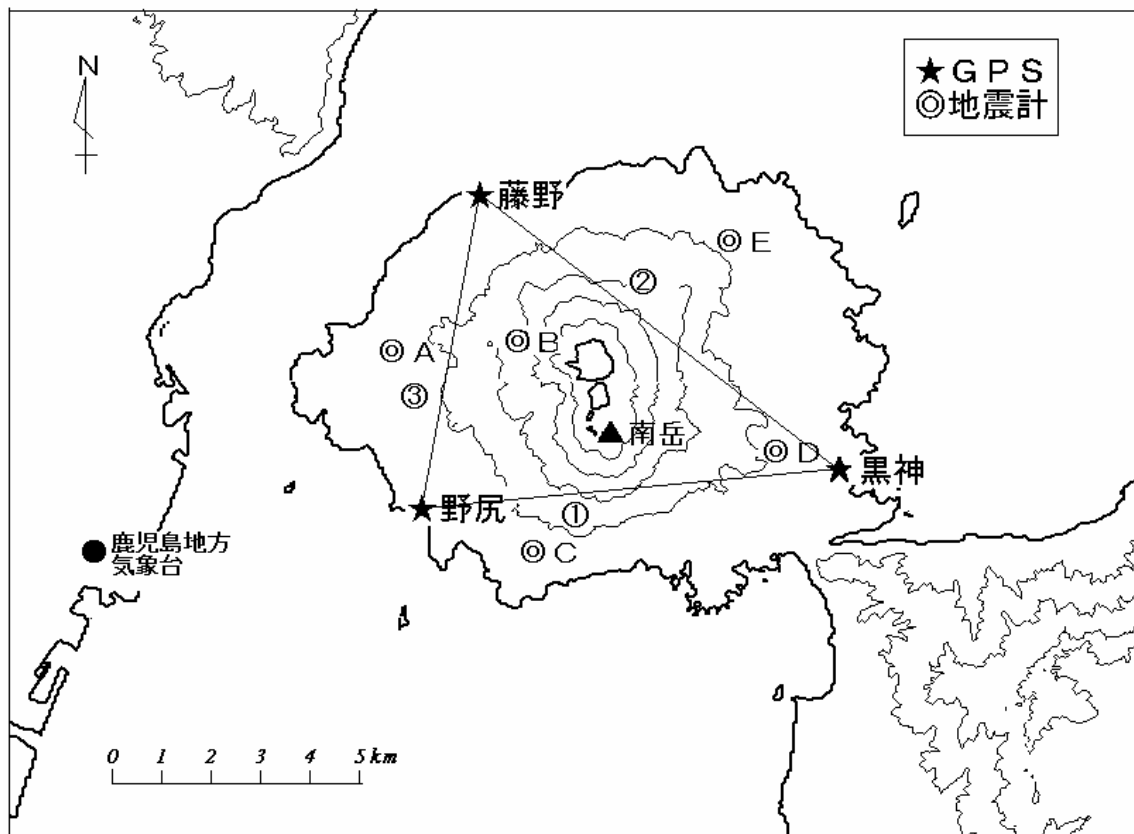


図5 観測点位置図